



# 金澤北ロータリークラブ



「無心」 高さ 120 cm

無心で生きている木々とそれを優しくつつむような雲を眺め周りに何の束縛するものがなく。心が純粹で素直になった時、人間本来の姿がその心の赴くままの行動に表れるのではないのでしょうか  
幼い子供の姿をかりて表現してみました。

日展評議員 錢亀 賢治



## 仏御前ものがたり

石川県児童文化協会副会長 三富 正美

仏御前の話、皆さんもご存知と思います。平家物語・源平盛衰記の中の一部に祇王という章があって、その中に仏御前が登場します。今から850年位前の話で、仏御前の人生は大変なドラマだと思えます。

平安の末期永暦元年1160年、加賀の国原の里（現在小松市原町）小松駅から出ていた尾小屋鉄道の途中にあった小さな部落です。父は源平の争いの中で京都から都落ちした花山法皇と共に加賀の国へ来た一介の武士で、法皇が建立した五重の塔の塔守りをしていました。父の感化を受けて生れた時からお経を唱えたりしていて仏と呼ばれていたのが後に仏御前という名前になっていった訳です。生まれつき可愛く綺麗で唄や踊りにも優れていたもので十四才の時に京都に居る叔父にさそわれて白拍子になったのです。白拍子というのは平安時代に流行した歌舞の一種で、別のいい方をすれば芸妓にあたる、白い<sup>ひたたれ</sup>直垂を着て、頭に<sup>たてえぼし</sup>立烏帽子をかぶり腰に白い<sup>たち</sup>太刀を帯びて舞ったので男舞ともいわれていました。仏御前は修業してその男舞の名手になったのです。評判が高くなって、何とかして当時勢力を持っていた平家の清盛公の前で唄ったり踊ったりしたいという気持を強く持つようになった訳です。その頃近江の出身で祇王と妹の祇女という二人の姉妹が有名な白拍子で、特に姉の祇王は大変な美人で踊りも上手だったので、平の清盛の側女として召し抱えられていた訳です。妹の祇女も母親も清盛の館に住むようになってずい分贅沢な日々を暮して

いた。そこへ突如として現れたのが加賀の国から来た十六才の若々しい仏御前であったのです。西八条の清盛の館へ乗り込んでいったが清盛公は田舎娘がと取り合はず何度も追い返され、それでも一曲なりと、と願ったのを見て祇王が清盛公に熱心にとりなしたので、祇王のいう事と、ようやくお赦し宴席の末座で唄と踊りを演じた。清盛公はその唄声と舞に驚き近くで再度演じさせた後更に近くへはべらせ、祇王・祇女と母親には退去を命じてしまった。その時、祇王は襖に「萌え出ずるも枯るるも同じ野辺の草 いずれか秋にあわで果つべき」の一首を残して去って行った。時に祇王二十一才、祇女十九才、母四十五才。三人は嵯峨野の奥の山里の芝の庵で尼となってしまった。清盛公の窮愛を受けるようになった仏御前も、三人を想って心晴れず、後に尼となって嵯峨野の庵を訪れ、互に慰め合ったという事です。仏御前十七才の若さであった。

祇王・祇女の住んだ庵は、祇王寺。苔のきれいな静かな尼寺として現在残っていて、そこには清盛公と四人の尼さんの座像が古ぼけて眞黒になって並んでいる。

仏御前は三人と共に庵に住んでいたが清盛の子供を宿していた。尼寺で子供を生む訳にはいかないので、故郷加賀白山の雪解けを待って、身重の尼という気遣いもあって白山越えて白山麓の瀬戸あたりまで来た頃陣痛が起こり、血滑という所までたどり着き、村の社の大きな岩にすがり付いて分娩した。男の子で

石動丸と名付けたが、発育不良でわずかの命で亡くなってしまった。その事が都にまで伝わり、清盛公が残念がったといわれています。弔いを済ませ白山に再び新雪が訪れる頃手取川にそって故郷の原の里に帰ったのが十八才、十四才から四年の間の出来事であった。

その後、茶屋・居酒屋を開いて生計を立てるようになったが、近隣・遠方からも男達の評判が大きくなり、更には男達の女房達の反感・怒りに広がり、遂に女房達の手によって殺されてしまった。

これは謀殺説で、一般的に多く伝わっている。

一方では、全く違った説として、仏御前は念仏を唱え乍ら人々の見守る中正座をし合掌し乍ら眠るが如く安らかに大往生したという説もあります。いずれにしろ治承四年1180年、八月十八日二十二才の若さで生涯を終えたと記録が残っています。

仏御前にまつわる伝説として

- 毎年春一番が吹き荒れる時、原の里の人々は仏御前のたたきだといって恐れ、出産の時不気味な声をする風が吹くといって恐れ産室を暗く閉ざす習慣となった。この風の事を仏御前の「ぼんぼん風」といっている。
- 仏御前の墓は県道原のバス停の所に三基の石が並んで小さな屋根がかかっているその一番右の背の高い石が仏御前の墓と伝えられている。
- 血滑りでお産の時すがり着いた岩は其の後大洪水の時も、又大勢の人夫を使っても動かず、神社の安産の神として今も残っている。
- 瀬戸で陣痛の時道端で老婆が干していた梅干を一つ願ったが与えられなかったのもそれ以来瀬戸では梅の実が一粒も出来なくなってしまうという。

ミニコンサート

9月7日(木)

演奏曲目

1. 荒城の月
2. 雪の降る街を
3. 月の砂漠
4. 鳥の歌
5. 春の海

尺八 盛本芳久  
ギター 谷内直樹



表紙作品

略歴 彫刻 錢亀賢治

1938年 加賀市大聖寺に生まれる  
金沢美術工芸短期大学 彫刻科選科卒業  
1973年 日展 初入選  
日展 特選 2回  
日展 審査員 3回  
2002年 日展 評議員になる

受章  
2002年 石川県文化功労賞 受賞  
2002年 北國文化賞 受賞

役歴  
日展 評議員  
日本彫刻会 運営委員  
北陸日彫会 事務局長  
石川県美術文化協会 理事



# 第1594回例会

9月7日(木) 12:30~13:30 松魚亭

1. ミニコンサート  
尺八 盛本芳久氏 ギター 谷内直樹氏
2. 出欠  
出席 40 名 欠席 27 名  
出席率 59.70% ビジター 4 名
3. 来訪者 (敬称略)  
金沢東 RC 二木克明  
金沢西 RC 坂井美紀氏  
金沢南 RC 高桑 明  
みなと RC 上村和宏
4. 皆出席顕彰 (敬称略)  
34 年 大村精二  
27 年 小間井宏尚  
20 年 二塚長生  
3 年 中村芳明
5. お誕生日祝い (敬称略)  
1 日 澤田光夫  
濱井弘利  
8 日 中村實博  
9 日 滝 憲三  
14 日 高島 聰  
15 日 大村精二  
22 日 佐賀 務  
26 日 俵外代吉
6. ご結婚記念日祝い (敬称略)  
15 日 森 大



最永年皆出席顕彰

大村精二 会員

## ニコニコボックス

- 米澤(眞)君、松田君  
先日のクリーンキャンペーンは、なかなかの盛況でした。皆様、ご苦勞様でした。また、本日は、ミニコンサートとの事、お楽しみ下さい。
- 高島君 盛本、谷内先生をお迎えしてのミニコンサートです。久しぶりなので楽しみにしています。また、今月は私の誕生日で、お祝いを頂きました。ありがとうございます。
- 大村君 34 年皆出席顕彰と、誕生月のダブルのお祝いです。
- 小間井君 皆出席の顕彰を受ける事になりました。皆様のお陰と感謝しております。年を経たのではなく、まだまだ先に先輩がいらっしゃいます。追いつくよう元気で行きます。
- 二塚君 20 年の皆出席顕彰を受けて。
- 俵 君 9 月 26 日で満 81 歳になります。今のところは元気です。
- 滝 君 誕生日を頂き、有難うございます。
- 澤田君 誕生日、有難うございました。気持ちは青年ですが、見かけも内部も、頭は老年に近づきつつあります。この一年も健康でロータリーに励みたいと存じます。
- 濱井君 誕生日のお祝いに、美味しそうなケーキを有難うございました。
- 小泉君 浅野川クリーンキャンペーンにご協力いただきまして、有難うございました。
- ゴルフ同好会会員一同  
先日のゴルフコンペで、「ショートホールワンオンチャレンジ」をしたところ、寄付も含め 18,000 円集まりましたので、ニコボックスへ。

# 第1595回例会

9月14日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話  
石川県児童文化協会  
副会長 三富正美氏  
「紙芝居」
2. 出欠  
出席 49 名 欠席 17 名  
出席率 74.24% ビジター 6 名
3. 来訪者 (敬称略)  
金沢西 RC 角田信夫  
金沢南 RC 酒田長昭 水野義男 林 隆信  
香林坊 RC 村田秀彦 西 三也
4. 幹事報告  
・米山奨学生シン・ドンミさん来会。



## ニコニコボックス

- 米澤(眞)君、松田君  
米山奨学生 シン・ドンミさんようこそ。三富先生、楽しい紙芝居を期待しております。
- 高島君 三富先生をお迎えして。昔懐かしい紙芝居を見せて頂きます。楽しみにしています。
- 銭亀君 今月号の広報表紙に、小生の作品を載せて頂きありがとうございます。

合計 5,000 円 (累計 297,000 円)

## 理 事 会 報 告

9月14日(木) 出席者 14 名

### ◆ 審議事項

- ① 浅野川クリーンキャンペーン決算書報告
  - ② 職業体験支援プログラムの件
  - ③ 退会会員の件  
堀本修平会員 (三井住友海上火災保険・転勤)  
後任の方は入会金のみ (前任の方から前期会費納入済みのため)
  - ④ 出席免除会員の件 渡邊聰君
- ### ◆ 各委員会報告
- ・国際奉仕・新世代会議委員会  
海外交流支援の件 (大徳中学校 ↔ シアトル・エクスタイン中学校)  
10 万円の支援金を贈呈する
  - ・友好委員会  
京都友好訪問の件 現在の所 24 名の参加者。  
10 月 19 日(木) は休会とする
  - ・親睦委員会  
年忘れ、会員作品展の件
  - ・R 財団委員会  
地区会議の報告

## 講 話 予 定

9月28日(木)

演題：こどもの写真を撮る

講師 宮村 成信氏

10月5日(木)

演題：こども時代を語る

会員 大村 精二君



会 長：米澤 眞二 S A A：山上 公介  
会長エレクト：小間井宏尚 会 計：勝田 浩之  
副 会 長：磯野 洋明 広報委員長：乙村 舜吉  
幹 事：松田 忠秋 会 員 数：67 名  
副 幹 事：中田 龍一 クラブ設立：昭和48年10月3日

例会日：木曜日 12:30~13:30  
例会場：松魚亭 金沢市東山 1-38-30  
TEL<076>252-2271 FAX252-2273  
事務局：金沢市尾山町 9-13・金沢商工会議所内  
TEL<076>222-2525 FAX224-2882  
E-mail:k-kitarc@aqua.hokuriku.ne.jp